

ふるさと雇用再生特別基金事業事例集

平成21年8月

厚生労働省職業安定局
地域雇用対策室

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【観光分野】

アテンダント乗務は社史79年間で初めてです。
鈴虫列車、ストーブ列車等季節ごとの列車が好評なので、そういった素地を活かし、更にアテンダントによるおもてなしを加え職員一同皆さんにお会いできることを楽しみにしております。
今回の取組が乗客増加につながれば新たな事業が生み出され、基金事業終了後も雇用を継続できると期待しております。



津軽鉄道株式会社
社長 澤田長二郎さん

事業概要

津軽鉄道沿線を含む奥津軽地域の広域的な観光PRを行うトレインアテンダント(客室乗務員)を雇用し、車内で観光客への名所案内を行う(6月14日から乗務を開始)

委託先

津軽鉄道株式会社
(本社:青森県五所川原市)
従業員数35人

新たな
雇用創出数

7人

事業費

約1,648万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

青森県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

青森県 0.27倍(季節調整値)
五所川原 0.11倍(原数値)
管内

業務内容

列車内での観光客への名所案内のほか、高齢者の列車乗り降りの手伝い、地域イベントでの司会

津軽鉄道のホームページ作成、沿線各駅に観光のぼりの設置、首都圏旅行エージェントへのセールス活動

1日5名体制(2交代制)。1人1日あたり3往復の列車に乗務。20本(10往復)の各列車に1～2名が乗務。



《「クイズで津軽弁講座。ケヤグ=友達??」》

客室乗務員の
みなさん

観光PRの説明に熱が入り、通路にしゃがみ込んで話しかけたり、時には一緒に記念撮影も。



アテンダント
竹内琴恵さん

観光客の方はもちろん、地元の方にもこの津鉄で奥津軽の魅力を感じてほしい。



アテンダント
葛西麗理さん

観光客が増え、周辺地域の発展につながればそれが私どもの願いです。そして若い人も魅力を感じる鉄道にしていきたい。



《100%の笑顔でお出迎え》

お客さまから
の声

乗客からは、好評の声が多数寄せられ、地域における雇用創出の事業として順調な走り出し。

地元の人ならではの丁寧な観光案内はありがたい。手作りの飾りつけに暖かみを感じた。

津軽弁が新鮮で、雰囲気がとてもよかった。



《七夕列車「おねがいごとをどうぞ」》

今後の姿と
課題

太宰治生誕100年や東北新幹線全線開業を追い風に、地域全体の観光客の増加を目指す。更にトレインアテンダント効果が出るようなアイデアや工夫が鍵に。



管理・企画グループリーダー
澁谷房子さん

列車に乗り込むアテンダントの笑顔からやりがいのある仕事についている喜びを感じます。そんな彼女たちとの感動の出会いは、ブログでござんください。

<http://okutsugaru0615.blog54.fc2.com/>



《津鉄は今日も走り続けます》

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【産業振興分野】

旬のものや安全で安心なものを消費者にお届けしながら、生産者と消費者の橋渡しをするのが私たちの役目です。生産、加工、流通、販売まで幅広く関わることで、それぞれが活性化できる仕組みを作っていきます。



いわて新鮮組株式会社 営業企画部長 加藤久雄さん

事業概要

安全・安心で高品質な県産の農林水産物を活かして、単なる素材生産から、より付加価値の高い加工品の生産や、ネット販売による新たな流通販売など、農林水産物の6次産業化を支援することを通じて農林水産経営の高度化を図る。

委託先

いわて新鮮組株式会社(本社:岩手県盛岡市)をはじめとする19事業者

新たな
雇用創出数

合計 50人

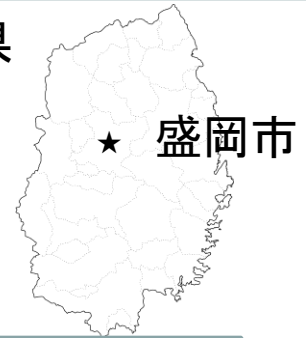
事業費

約11,000万円(平成21年度)
※19事業者全体

事業の開始

平成21年4月～

岩手県



★ 盛岡市

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岩手県	0.34倍(季節調整値)
盛岡管内	0.39倍(原数値)

業務内容

【いわて新鮮組】

- ・広域的に県内の農林水産物や加工品を販売する「街なか産直」事業
- ・岩手のこだわり食材を中・外食企業などに提案する直接販売事業

事業の公募

岩手県は、①付加価値の高い「新たな加工品の生産・販売」、②ネット販売やケータリングサービス等の「新たな流通販売」、③農産物・木材等の「新たな地産地消」といった生産・加工・販売・流通に関するビジネスモデルを示した上で事業企画を公募。雇用創出効果の観点から、19事業者を選定、事業内容に応じそれぞれ委託契約を結び事業を展開している。



《「新鮮な果物・野菜はいかがでしょう！」》

スタッフのみなさん

消費者、生産者、加工業者みんなが幸せになるビジネスを展開していきたい。



食材を通してみなさんの交流の場になれば嬉しい。

地産地消にこだわっています。

スタッフ 加藤千恵子さん、鈴木友子さん

お客さまからの声

この店舗1か所で、県内各地の農産物や加工品を購入できるので、好評を得ています。

「食のアウトレット」のコーナーで規格外の商品を安く買えるのが魅力。

街の便利な場所にあるので気軽に立ち寄れる。商品が豊富。

今後の姿と課題

今回の「街なか産直」事業のほか、委託した個々の事業を実施していく中で、県内各地域の活性化が図られるよう、地域と一体となった支援体制づくりが必要。



今回の事業で、新たな産業振興の希望が見えています。県としても全面バックアップをしていきます。なお、岩手の食材に関する情報はコチラをご覧ください。→「いわて食材倶楽部」
<http://www.iwate-syokuzaiclub.com/index.html>

岩手県流通課企画マーケティング担当 佐藤栄幸



《「県内各地から採れたてのものが届きます！」》



《「豊富な品揃え。こだわり食材も並んでいます！」》



《お客様が立ち寄りやすいよう屋外に設置した店舗》

伝統こけし工人後継者育成事業 【宮城県:蔵王町】

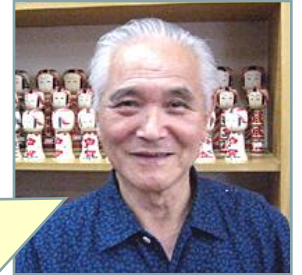
事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

遠刈田系のこけし工人は1950年代は100人ほどいましたが、今では28人にまで減っています。このうち遠刈田温泉地区には18人が活動していますが、平均年齢が71歳と高齢化が進んでおり、後継者育成が急務の課題となっています。

本事業が、伝統技術の継承と地域雇用の創出に繋がることと大いに期待しています。



遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
理事長 佐藤哲郎さん

事業概要

現役ベテラン工人のこけしなどの製作補助作業を通して、技術を伝授し、遠刈田伝統こけし産業の継承を図る。

委託先

遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
(みやぎ蔵王こけし館内)

新たな
雇用創出数

3人

事業費

940万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～

宮城県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

宮城県 0.38倍(季節調整値)

白石管内 0.18倍(原数値)

業務内容

遠刈田伝統こけし及び木地玩具の製作補助

「みやぎ蔵王こけし館(蔵王町伝統産業会館)」の来館者に、こけし製作実演及び体験教室の指導など

組合員7人が交代で新規こけし工人の指導育成に当たる



《年間約3万人が訪れる「みやぎ蔵王こけし館」》

新規工人のみなさん

伝統こけしは、原木の段階から、顔・胴の描彩、仕上げまでの全工程を一人のこけし工人が行います。すべて自分の思うとおりに作ることが出来るのですが、それゆえに作り手の生活や気持ち体調などが作品に反映され作風も変化します。そこが面白くも難しいところです。

指導を受けた技術の一つ一つを、身に付けていきたいです。



新規こけし工人
日下秀行さん

道具も自ら作ります。大変やりがいを感じています。



新規こけし工人
達曾部早苗さん

厳しい職人の世界ですが、丁寧に指導いただいています。



新規こけし工人
熊谷祐太さん

指導者からの声

こけし工人の高齢化が進んでいることから、「伝統に培われた技術が後世に伝えられる」と期待されます。

「一人前になりたい」という3人の強い意気込みが伝わってきます。

後継者として安心して指導できます。

今後の姿と課題

3年後に、こけし工人として独り立ちさせることが目標です。短期間に効果的な指導をすることが重要であることから、日々工夫して指導育成に取り組んでいます。



伝統技術と、若い世代の活気と感覚が融合して、新しい伝統が生まれていくのです。

遠刈田系こけし



《刃物を使用するため、真剣勝負です》

中心市街地にぎわい創出プロデュース事業【岐阜県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

にぎわい創出の基本は、そこに人々を惹きつける「モノ、コト、ヒト」が魅力的な存在としてあり続けることであるとの考えのもと、「この場所にしかないもの この場所でしか体験できないこと この場所でしか出会えない人」をテーマに、県都岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅周辺地域のにぎわい創出を図る。

岐阜県



事業概要

JR岐阜駅周辺地域における新たなにぎわい創出拠点となる「EKI-Site43Gifu(エキサイト43ギフ)」の事業企画・運営スタッフを雇用し、店舗での接客やイベント開催業務を行う。

地域雇用失業情勢
(平成21年6月時点)

岐阜県 0.44倍(季調値)
岐阜管内 0.51倍(原数値)

委託先

株式会社岐阜シティ・タワー43開発
(本社:岐阜県岐阜市)

新たな
雇用創出数

6人

事業費

約51,598千円
(平成21年度)

MERgE(マージ)

融合をコンセプトとして、機能性・デザイン性に優れた生活用品やギフトを国内外から集めたショップ & カフェバー



Market-Site(マーケットサイト)

昼はランチボックスの販売
夜はビアガーデン
日曜は野菜の朝市



“エキサイト43ギフは、季節や時間帯で変化する4つのサイト”

Aji-Site(アジサイト)

岐阜の話題の味や隠れた名物の
期間限定ショップ



Mono-Site(モノサイト)

岐阜のこだわりグッズの
期間限定ショップ

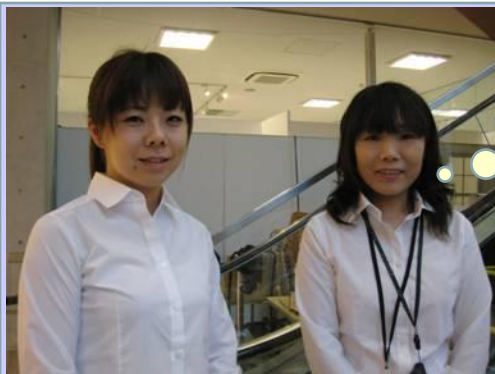


岐阜・日本 世界の「ヒト・モノ」の融合

MERGE
「マージ」
誕生。

この夏、岐阜シティ・タワー43に「エキサイト43ギフ」が誕生！
EKI-Site 43 Gifu

スタッフの
みなさん



いつも笑顔で、
お客さまを迎え
ます。



ここでしか手に入らないモノ
ばかりです。一度、ご覧くだ
さい。



楽しいイベントを
企画し、いつ来て
も新しい場所にし
ます。

お客さまから
の声

「駅前がにぎやかになった」「働いている
人も活気がある」など、お客さまからは、
好評の声が多数寄せられている。

今後の姿と課題

順調な走り出しをしたので、今後、
季節感のあるイベント展開で、さら
なるにぎわい創出を図っていく。



管理・運営担当リーダー
大橋通広さん

新たなスタッフと共に、この
岐阜駅周辺地域がにぎわい
のある街となるよう頑張りま
す。



テープカットセレモニー



ワイン講座



フレアバーテンダーショー



チームMERgEミーティング

事例紹介

ふるさと雇用再生特別
基金事業
【農林漁業分野】

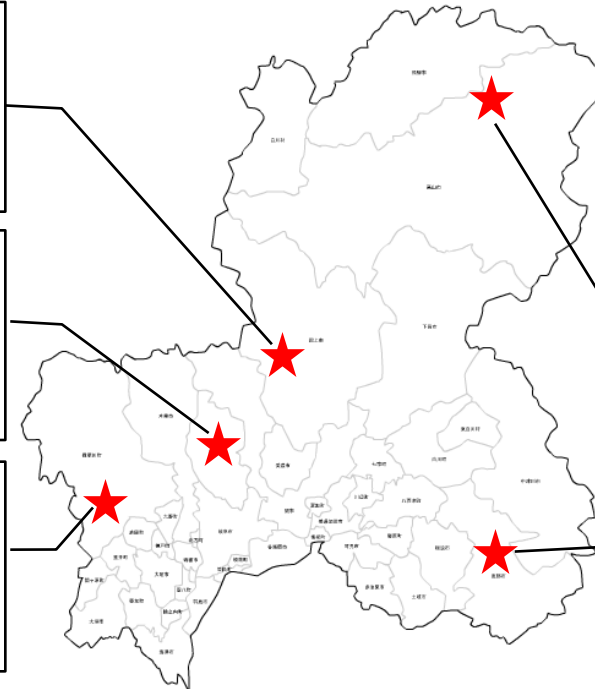
岐阜県内の豊かで変化に富んだ地域資源を活用した取組(グリーン・ツーリズム、ワーキングホリデー、教育・研修など)のビジネス化を支援することで、農村における交流・定住人口の増加、雇用の拡大及び農村地域の活性化を図る。

事業概要	県内の地域資源(自然、文化・伝統、農林地、空家等)を活用し、農山村の交流・定住人口の増加につながるビジネスモデルの構築とその実証を行う		
キーワード	①田舎で遊ぶ、②田舎で学ぶ、③田舎で貢献する、④ぎふを耕す、④田舎で暮らす		
委託先	公募型プロポーザル方式により選定した県内5団体	新たな雇用創出数	9人
事業費	約3,200万円(平成21年度)	事業の開始	平成21年5月～

特定非営利活動法人メセコイアの森の仲間たち
(所在地: 郡上市八幡町島)
郡上市内での耕作放棄地等を活用した新たな農業体験・農村イベント等都市農村交流事業の展開。 【新規雇用2名】

ぎふ農業協同組合
(所在地: 岐阜市司町)
山県市美山地区でのアグリポータルセンター(仮称)の設置による都市農村交流事業等の展開。 【新規雇用1名】

山菜の里いび
(所在地: 揖斐郡揖斐川町春日六合)
揖斐川町春日地区での「山菜」をキーワードとした都市農村交流事業等の展開。 【新規雇用2名】



事業実施箇所

株式会社和仁農園
(所在地: 高山市上宝町見座)
高山市上宝地区での農業体験、環境教育に関する都市農村交流事業や耕作放棄地再生利用等の展開。 【新規雇用2名】

株式会社モールデック
(所在地: 各務原市前渡西町)
恵那市岩村地区でのログトレーラーハウスを活用したクラインガルテン(農園付きコテージ)事業の展開。 【新規雇用2名】

県内5箇所において、民間団体の創意工夫で多彩な事業が展開され、スタッフの皆さんも活躍中です。今回の各事業が農村ビジネスとして確立されれば、基金事業終了後も雇用が継続され、定住人口の増加や農村地域の活性化の一助になるものと大いに期待されます。

特定非営利活動法人マセコイアの森の仲間たち

汗水垂らして働くことは最高です！
by 永吉さん



郡上での暮らし方をつくっていききたいです！
by 靱山さん



子どもと泥んこ遊び



土☆コミュニケーション農園

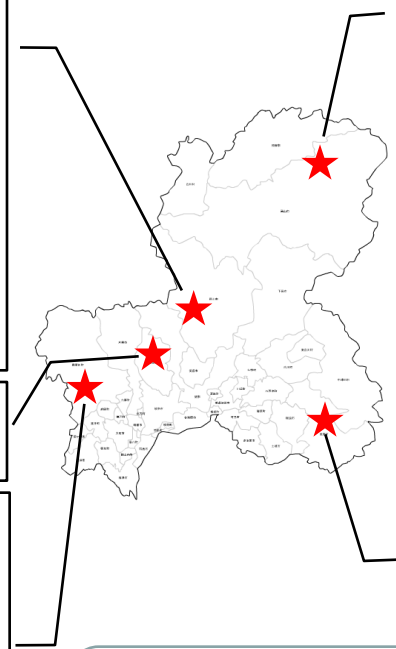
ぎふ農業協同組合
7月から事業展開が始まったばかりです。

山菜の里いび

活動の立ち上げ時期で、毎日多忙ですが、愉しく仕事をさせてもらっています。
by 田口さん



じゃがいも収穫体験のお手伝い



野菜作りは初めてですが、この楽しさを多くの人に伝えたいです。
by 小林さん

株式会社和仁農園

農業は常に研究の連続で大変ですが、非常に楽しいです。
by 中西さん



農作業は厳しいですが、自分の手で作物を育てることは楽しいです。
by 中田さん



環境調査の後の楽しい昼食

株式会社モールデック



トレーラーハウスやWEBサイトづくりで、いろいろ教えてもらいながら、毎日楽しく仕事しています。
by 周さん



抜群のロケーションのモデル農園

琵琶湖森林レンジャー活動事業

【滋賀県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

事業概要

県民の皆さんが広く森林に親しみ、そして、理解してもらえるよう、拠点となる県内の3つの森林公園等に「琵琶湖森林レンジャー」を配置する。

事業費

26,814千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

委託先

(ア)有限会社西浅井総合サービス
(イ)滋賀北部森林組合
(ウ)近江鉄道ゆうグループ

配置拠点と 新たな雇用 創出数

(ア)山門水源の森(伊香郡西浅井町) : 2人
(イ)県立きゃんせの森(米原市) : 1人
(ウ)県立近江富士花緑公園(野洲市) : 2人



県立きゃんせの森



県立近江富士花緑公園



滋賀県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

滋賀県 0.37倍(季節調整値)

業務内容

①森林ガイドや様々な世代を対象にした森林環境学習の企画と実施

②施設のモデルプログラムの開発や
観察路の維持点検

③貴重種保護などのための
森林パトロール

④森林の重要性や森の恵みなど
についての普及啓発



森林レンジャーの声



自然が大好き。自然の中で仕事ができ、公園に来る子どもたちに、学習プログラムを通じて、この自然の素晴らしさを伝える仕事ができることがうれしいです。

どんぐりの木が好きなので、今後は、皆さんから「どんぐり博士」と呼んでもらえるように、専門知識を身につけて、どんぐりの木を使った学習プログラムを作っていくことができればと頑張っています。

人と自然の間に立って、人と自然、人と人をつなぐ仕事ができることに魅力を感じています。この素晴らしいフィールドを活かして、人と自然、人と人をつなげるような、新しい環境学習プログラムを手作りしたいです。



今後の姿と課題

滋賀県労政能力開発課
緊急雇用対策室
Mさん

- ・ この事業の実施を通じて、琵琶湖の水源である森林の持つ多面的な機能に着目した新たなビジネスの創出につながることを期待しています。
- ・ これからも、琵琶湖や森林、農地といった滋賀の持つ資源を活かしながら、また、福祉や医療、教育など県民の皆さんのニーズの高い分野での雇用創出に重点的に取り組み、地域活性化を図っていきたいと考えています。

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【教育・文化分野】

茶道用の炭は湯を沸かす「炭点前」の必需品で、理想とされる美しい菊状に断面を仕上げるには温度調節など高度な技術が必要です。茶道に欠かせない炭の安定供給を、雇用という形で体制整備し、伝統文化を残すお手伝いをしたいです。

株式会社カーボテック 代表 石橋 昇さん



事業概要

京都府内で国産茶の湯炭の製造を復興し、事業化することによって、茶の湯文化の維持発展・府内の森林整備・地域力再生を図る。

委託先

株式会社 カーボテック
(本社:京都市上京区)
従業員数 7人

新たな
雇用創出数

7人

事業費

約2,350万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年8月～

地域雇用失業情勢
(平成21年5月時点)

京都府 0.52倍
京都市 0.57倍
(ハローワーク西陣管内)



主な業務分担

- 管理技術員⇒技術員の指導及び管理 (1名)
- 林業技術員・作業員⇒クヌギ原木の伐り出し・搬出作業 (3名)
- 製炭技術員・作業員⇒窯造り・製炭・切断箱詰め作業 (3名)

事業計画の
公募

本事業は、京都府が実施した「企業等からの提案型事業」により採択され、事業実施されるもの。



《茶の湯用の炭～美しい菊状の断面》

事業の背景と ねらい

国内の森林荒廃や担い手不足が進む中、茶の湯炭の大半を担ってきた中国産が5年前に輸出禁止となり、将来的に供給不足となることが懸念されている。



《茶の湯用の炭は「炭点前」の必需品》

ふるさと基金事業を活用して失業者を雇い入れ、事業を立ち上げる。森林組合から技術的協力を得ながら、森林整備の担い手を雇用し、将来的には炭焼き技術の継承者として育成する。

森林を育成しつつ、10日間燃やし続ける「炭焼き」を復興し、将来的には国内需要相当分の生産を目指す。(初年度目標5トン)

日本の伝統文化である茶の湯(茶道)の維持発展を図る



今後の姿と課題



京都府商工労働観光部
緊急経済・雇用対策担当
細見 史子さん

文化や環境など、京らしさを兼ね備えた事業として期待してます。

「丹波の炭」のような新しい京都のブランドとして成長し、雇用の場が拡大していけばいいですね。



《炭の復興にあわせて森林整備やそれを担う人材育成を行う》

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【子育て分野】

佐賀県学童保育支援センター事業 【佐賀県】

事業概要

放課後児童クラブの総合的な相談・支援の窓口となる学童保育支援センターを設置し、クラブの運営や活動をきめこまやかに支援することにより、子どもたちの安全で豊かな放課後の居場所づくりを推進する。

委託先

特定非営利活動法人
佐賀県放課後児童クラブ連絡会

新たな雇用 創出数

20名

事業費

66,004千円
(平成21年度)

事業 開始

平成21年
5月～

業務内容

放課後児童クラブへの訪問支援・相談支援事業

支援センターの支援員が、放課後児童クラブを訪問し、相談支援を行います。

ネットワーク事業

放課後児童クラブの課題を解決するための行政、学校、地域の子育て支援関係団体等による支援体制づくりを行います。

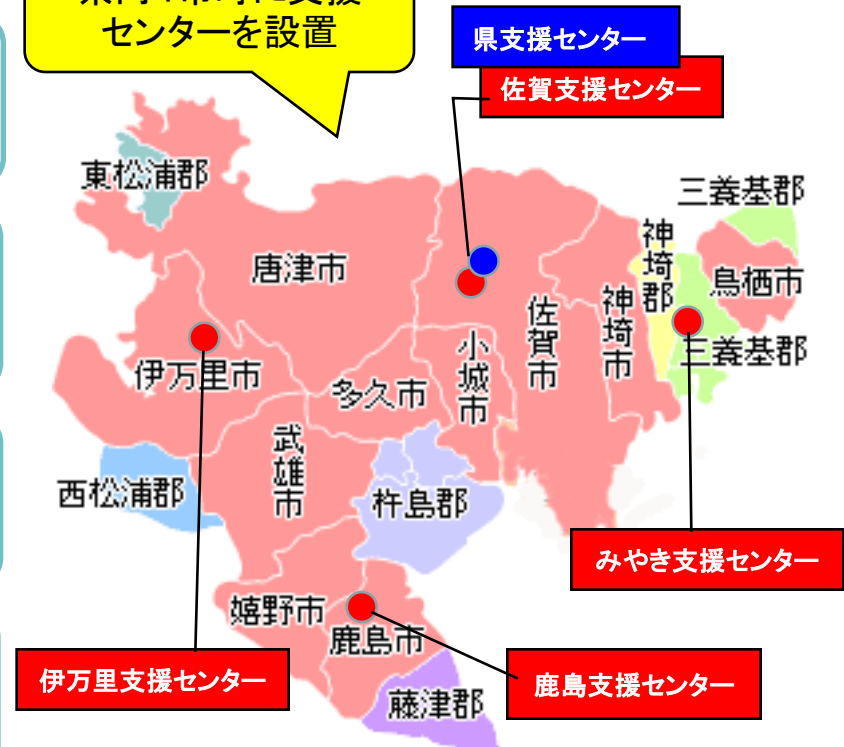
専門機関からの専門相談員の派遣、出前講座等の提供事業

外部の専門相談員等の派遣による相談支援や放課後児童クラブへの出前講座等の提供を行います。

人材養成及び人材バンク登録・管理事業

指導員の養成や初任者研修等を行います。
指導員の人材バンクの設置・登録・管理事業を行います。

県内4市町に支援
センターを設置



支援員の活動状況

現在、県内約200箇所の放課後児童クラブを訪問して、指導員や保護者の方々からの相談を受けたり、地域の団体みなさんとともに遊びや生活づくりのプログラムを提供したりしています。



伊万里支援センター
中原 健太郎さん

放課後児童クラブへの様々なプログラム提供を通して、子どもたちとふれあうことがとても楽しいです。放課後児童クラブをもっともっと楽しいところにしていきたいです。



鹿島支援センター
山口 亮子さん

放課後児童クラブの指導員という立場を離れて見えてきたものがあります。今必要とされている支援は何なのかを考えながらがんばっている指導員さんを応援していきます。

◆放課後児童クラブの指導員は毎日悩みながら子どもたちと接しています。現場の課題を一緒に考える仲間として、私たち支援員をどんどん利用してください。
◆私たちは地域の情報を放課後児童クラブに届けるだけでなく、子どもひとりひとりの成長を一緒に見守っていきたいと考えています。

◆放課後児童クラブがひとりひとりの子どもにとって安全で心地よい居場所となる

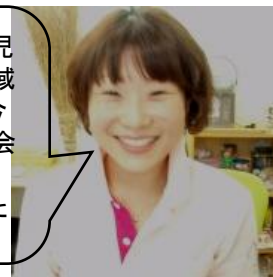
◆地域が子どもに温かなまなざしを向ける
◆子育てが社会の喜びとなる

保育士の経験を活かして、今まで直接子どもと接していた立場から視点を少し変えたところで、放課後児童クラブの支援を行っています。



みやき支援センター
泉 折恵子さん

支援員として放課後児童クラブの訪問や地域の中へ動き出して、今までにない幅広い出会いを重ねています。子どもたちの笑顔のためにがんばります。



佐賀支援センター
早田 磨理子さん



オープニングフェスタでは支援員全員が放課後児童クラブの充実と発展を目指して活動する決意表明を行いました。



学童保育支援センタースタッフ

鹿島市中心市街地活性化推進事業 【佐賀県鹿島市】

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【産業振興分野】



中心市街地活
性化のため、
力を合わせて
頑張ります。

佐賀県



鹿島市

事業概要

中心商店街のイベント開催や個店への講習会等を通じ商店街や個店の魅力向上を図り、空洞化しつつある中心市街地の再活性化を図る。

委託先

鹿島商工会議所

新規雇用数

4人

事業開始

平成21年5月～

委託費

1,411万円
(平成21年度)

事業内容

- (1) 中心商店街等のHPの作成や情報誌発行に関すること。
- (2) 商店街共同大売出し等の企画や個店指導・講習会の開催補助に関すること。
- (3) 買い物代行サービスのニーズ調査及び実施に関すること。
- (4) まちなか案内所(コミュニティ施設)の管理運営や施設での教室・講座の開催に関すること。

○地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

佐賀県 0.41倍
鹿島管内 0.36倍



平成21年5月16日に開設した
[なかいけ庵 よらんね]

「なかいけ」とは、途中休憩という意味。買い物等の途中休憩で利用してもらいたい。

事業に携わるスタッフの皆様



「よらんね」とは方言で「お寄りください」という意味です。皆さん、お気軽にお立ち寄りください。

松本 直治さん



「鹿島の良さ、有明海産の海産物などを紹介します。」

片瀬 正芳さん



「住民ニーズ、地域課題に応え、まちづくりに取り組みます。」

山口 健二さん



「まちが元気になれるように応援します。人と人の絆を大切にふれあいの場を築いていけるように頑張ります。」

井上 法子さん



中心商店街では、各店舗が「のれん」を掲げ「発酵文化の香る街」をPRしています。

酒や味噌づくりが盛んに行われている鹿島市の中心市街地では「発酵文化の香る街」として、まちづくりを進めています。



以前、中心商店街は非常に賑わいのある街でした。イベントの時など、前に進めないほど人が多かったことを記憶しています。これからは新しい形で活気のある中心商店街をめざして、新たに雇用された方々と一緒にまちづくりに取り組んでいきます。

鹿島市中心商店街連合会
会長 中川 龍生

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【介護・福祉分野】

沖縄県労福協が運営する当センターの特徴は、単なる就職支援だけではなく、子育てや介護があってもなかなか就職できない、就職しても継続できないといった悩みを抱えているみなさんの支援に重点を置いていることです。

今後、少子高齢化はますます進行すると予想されます。そうしたなか、こうした社会的意義のある事業を軌道に乗せ、継続的な雇用創出につなげていくことが私たちの役割だと考えております。



(財)沖縄県労福協
就職支援センター事務局長
安里 優 さん

事業概要

子育て支援相談、介護支援相談、就職支援相談に関する専門員等を雇用・配置し、子育てや介護などを抱えてなかなか就職できない、就職しても継続が難しい人たちの支援を行う。

委託先

財団法人 沖縄県労福協
(所在地: 沖縄県那覇市)
従業員数25人

新たな 雇用創出数

16人

事業費

約5,564万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～



地域雇用失業情勢

* 事業開始時点の有効求人倍率
0.28倍
(ただし、沖縄県全体の数値)

業務内容

- ①子育て支援: 子育てが大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した子育て支援NPOと連携して、子育て支援を行う。
- ②介護支援: 介護が大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した介護支援NPOと連携して、介護支援を行う。
- ③就職支援: 就職基礎力アップ講座とそれに続く3か月にわたる就職活動バックアップや、インターンシップ、合同企業説明会の実施等により、就職活動を支援する。



スタッフのみなさん

子育て世帯、介護世帯が抱える悩みや問題は様々。そうした方々の多種多様な生活の悩みや相談にこたえられるよう、社会福祉士などの有資格者をはじめ、個性豊かなスタッフが揃っている。



子育て支援アドバイザー
宮城絵里奈さん

若輩ですが、子育ての悩みや不安を抱えているみなさんのお話の聞き役としてがんばります。



介護支援コーディネーター
平良博子さん

『生活のこまった!?』を解決できるよう頑張ります!!



相談員(那覇南部/中部)
崎原宏子さん

自分のこれまでの経験を生かし、体力とフットワーク、明るい笑顔でがんばります。

利用者・関係者からの声

利用者である子育て世帯や介護世帯の人たちだけでなく、雇用する側の企業や事業の連携先である子育て支援NPO、介護支援NPOなどからも期待の声が寄せられている。

子どもがいて、就職活動が思うようにいっていなかったの、こうした支援があると助かります。
(子育て世帯)

介護があって仕事が続けられないかと思っていたけど、こうした支援があれば助かります。
(介護世帯)

子育てや介護を支援することで、就職できる人たちが多くいることは経験上分かっていたが、本格的な就職支援まではなかなかできなかったの、この事業に期待しています。
(子育て・介護支援NPO関係者)

子育てや介護を理由に退職する人も結構いるので、こうした事業があるなら、積極的に活用したい。
(県内大手スーパー関係者)

今後の課題と展望

当面は、周知徹底と利用者増を図ることが課題。並行して、各地域のNPOや行政、企業との連携強化・ネットワーク構築を図り、最終的には、地域のワンストップサービスセンターを目指す。



総合就職支援コーディネーター 濱里正史さん

この事業の鍵はネットワークづくりだと考えています。当面は、各地域に密着した子育て支援NPO、介護支援NPO、生活支援NPOとの連携強化が最重要課題ですが、各市町村の担当課や多くの企業の人事担当などもネットワークを築き、幅広くきめ細かい支援ができるようにしたいと思います。最終的には、介護関連事業を直接手がけることも含め、事業を軌道に乗せ、雇用の継続を目指します。



* 那覇・南部センターの開所式の様子(7月10日)